
妖共々（あやかしともども）

九頭龍隼人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妖共々（あやかしともども）

【Nコード】

N0870X

【作者名】

九頭龍隼人

【あらすじ】

この小説は作者である僕、九頭龍隼人のスランプ脱出用に書き始めた小説です。

内容としては主人公の青年が『妖怪』や『幽霊』などのオカルト的な存在に触れ、成長？していく物語です。色々と未熟な所があると思いますが、そこはご指摘くだされば努力をして訂正いたしますので、どんどん辛口なコメントをよろしくお願いします！

第零話

この世には生者だけが存在している訳ではない。一般的には『幽霊』や『妖怪』とされるこの世に未練を残した人間や動物の霊魂、人々の想いが生んだ『モノ』もこの世に存在している。さて、この話は曾祖母、祖母から『幽霊』や『妖怪』といった『モノ』を見ることのできる力を持った人間の青年が幼馴染や家族、人間の友達、さらには『妖怪』達の織り成すストーリーである。彼が人ではない『モノ』に触れ、何を感じ、何を学ぶのか……さあ、物語の扉を開こう……

第零話（後書き）

初めての方、現在連載中のこの作品を読んでくれる方も、初めまして、九頭龍隼人です。この作品はスランプ克服のために書き始めた小説です。一応は2〜3話で完結するストーリーを書いていきますので、よろしくお願いいたします。ついでにですが、この妖怪を登場させてほしいなどのご要望がございましたら、その妖怪の名前、どんな妖怪なのかを感想でも送ってくれば、前向きに努力させていただきます！

それでは、この作品を読んで下さっている方に無上の感謝を込めて。

九頭龍隼人

第一話 昔話

僕は小さなころから、人では無いものが目に見えた。それは歳をとるにつれてよく見えるようになって来て、今じゃ何かを訴えている自縛霊とか、人間にとりついた生霊とかが見えるようになってしまった。

何で僕がそんな能力を持ってしまったかと言うと、それは僕の曾祖母である沢村冬にまで遡る。

僕の曾祖母は新潟県の出身で、幼いころから人間ではないモノが見え、天照大御神の声が聞けるという特殊体質で、幼い頃から曾祖母が住んでいた村で巫女をしていた。だが、最初の本当に幼かった時は言う事を聞いていた曾祖母も十代になり、自我を持ち始めると好きな人が出来た。その事を聞いたその当時曾祖母の力のお陰で村の村長をしていた曾祖母の両親は人を好きになると言う行為は巫女としての神格を損なうという事で大反対をした。

しかしどうしてもその男性と所帯を持ちたかった曾祖母は、僅かな路銀と来ていた巫女服だけでその男性と駆け落ちし、その男性の実家がある東京に住みついた。そして二人の間に生まれたのが僕の祖母である沢村花だ。

祖母は母である曾祖母の力を受け継いでいたが、曾祖母がその力を封印しようとしたが、祖母がその必要は無いという事だったので封印をする事は無かった。そして祖母も結婚して子供が出来る訳だけど、僕の母さん、沢村涼香は祖母と曾祖母の力を受け継いでおらず、祖母と曾祖母は心底喜んだと言っていた。だけど残念なことに曾祖母の死後二十七年経って生まれた僕こと沢村宗也はその力を受け継いでしまったという訳だ。

まさか曾孫に力が受け継がれると思っていなかった曾祖母は、力の封印方法を祖母に教えていなかったもので、僕は本当に小さい頃から人間ではない『妖怪』が見えてしまい、怖くて年中泣いていたの

を覚えている。

それを見かねた母さんが、原因はこの家にあるのではないかと思
って引越しをしたおかげで、中学時代は殆ど『妖怪』を見ること
は無かった。(ちなみに、三年生の頃に母さんと父さんが離婚した。
理由は実家が怖いからだそうだ。)

けれど僕が中学三年生の時、僕の祖母である沢村英人が病死し、
通夜の為に実家に帰った瞬間にまた見えるようになってしまい、こ
れでは何処に住んでも一緒だなと思った僕は、六年振りに実家に帰
って来たという訳だ。

それから三年、高一の時に祖母が亡くなり、この家も広くなつて
しまったけど、母さん共々元気にやっている。

僕は今、高校を卒業して近くにある条楠大学に通いながら、日々
妖怪達を見ながら生活をしているって訳だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0870x/>

妖共々（あやかしともども）

2011年10月9日16時14分発行